



産院からのお知らせ

～災害対策の取り組み～

電力供給可能時間が72時間に向上!

東日本大震災の後、当院でも発災時の対応を中心に「災害対策マニュアル」の見直しを行ってきました。これと併せて、災害時に万が一、電力会社からの電力供給が途絶えたとしても、継続して医療の提供が行えるように**非常用自家発電設備**の更新も行うことになりました。



当院へ設備機器が搬入されているところ



設置場所へ据付される様子

昨年の11月より作業を始め、ご来院の患者様やそのご家族ならびに近隣住民の方々にご不便・ご迷惑をおかけしておりますが、皆さまのご理解とご協力のおかげで工事も順調に進んでおり、2月中には完了となる予定です。これにより、夏場の最大使用電力量で供給したとしても、少なくとも**72時間**は自力でまかなうことが可能になります。引き続き、産婦人科・小児科ともに、安心して当院へご来院いただけるように、その設備と環境の改善、強化に取り組んでまいります。

～小児救急市民公開フォーラムのご案内～

まもなく東日本大震災から3年が経とうとしています。

防災への意識が薄れがちな今、あらためて、当時の状況や震災後に被災地ではどのような取り組みが行われてきたのか振り返り、いざという時に大切な子ども達の命を守るための対処法を知っていただくという目的で、当院の院長が会員となっている日本小児科学会の主催により「小児救急市民公開フォーラム」が開催されることになりました。

日本赤十字社も共催として、家庭で出来る応急手当について分かりやすくお伝えします。

入場無料・事前申込み不要ですので、どなた様もどうぞお誘いあわせのうえご来場下さい！

当日ご来場の方には、子どもの救急対応に役立つハンドブックを差し上げます。

小児救急市民公開フォーラム

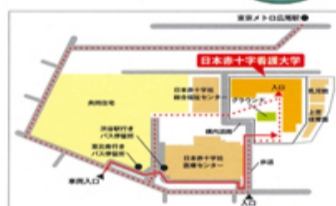
～震災から3年 再びにそなえる～

入場無料
事前登録不要

日時 平成26年3月15日(土)
13:30～16:30(開場13:00)

会場 日本赤十字看護大学 広尾ホール
東京都渋谷区広尾4-1-22

- JR渋谷駅より都バス(学03)日本赤十字医療センター行終点下車
 - JR恵比寿駅より都バス(学06)日本赤十字医療センター行終点下車
 - 東京メトロ比叡線広尾駅 六本木寄り口下車徒歩15分
- 駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。
公共交通機関をご利用の上、ご来場ください。



プログラム

13:30 開会 開会のことば 寺井 謙(日本小児科学会 小児医療委員会担当理事)
主催者挨拶 五十嵐 耀(日本小児科学会 会長)

13:40 東日本大震災から現在までの取り組みについて
14:30 一岩手県の場合

司会：江原 伯庸(日本小児科学会 小児医療委員会委員)
小児医療について 洞向 達(岩手県立大船渡病院 副院長)
保健師としての活動 花崎 洋子(岩手県大船渡保健所 保健課長)
子どものこころの問題について 八木 淳子(岩手医科大学いそごこケアセンター副センター長)

14:30 あの時私は..働くママの3.11

司会：市川 光太郎(日本小児科学会 小児医療委員会委員)
守るべき命...家族の絆と地域連携 市原 治子(葛飾赤十字産院 事務部)
「仕事」か、「子ども」か。～究極の選択～ 福岡 なおみ(東北大学医学部 小児科)
安心と安全の提供が学校の責務 板垣 博(板橋区立北新野小学校 副校長)

15:20 休憩

15:30 気を付けたい子どもの事故&いざというときの対処法

司会：松原 裕行(東京大学医療センター大森病院小児科)
家庭で出来る応急手当・AEDを含む心臓蘇生 藤 浩美(日本赤十字社東京都支部 救急法・幼児安全法指導員)

16:30 閉会 閉会のことば 布井 博幸(日本小児科学会 小児医療委員会担当理事)



主催：日本小児科学会 共催：日本赤十字社 後援：東京都小児科医会、東京都医師会、葛飾区医師会
お問い合わせ：葛飾赤十字産院 総務課 遠藤・齋藤 (03-3693-5211)